



内外テック株式会社

JASDAQ・コード3374

# 2016年3月期 決算説明会

---

2016年5月27日

代表取締役社長 権田浩一

# 2016年3月期 決算概況

# 1. 2016年3月期のポイント



## ■販売事業・受託製造事業ともに増収増益 (3期連続増収増益)

### (1)売上高 前連結会計年度比 10.2%増

- ・増産投資・先端技術投資に伴う半導体製造装置メーカーからの受注が堅調に推移
- ・中国を中心とした大型液晶パネル向け設備投資の拡大に伴うFPD製造装置メーカーからの受注が堅調に推移
- ・センサー関連メーカーからの受注が増加

### (2)営業利益 前連結会計年度比 31.3%増

- ・売上高の増加による利益の増加
- ・原価改善

### (3)経常利益 前連結会計年度比 38.1%増

- ・有利子負債の圧縮による支払利息の減少

## 2. 連結 2016年3月期の概況



単位:百万円

連 結	2015/3期		2016/3期				前期増減額	前期増減率
	実績		上期実績	下期実績	通期実績			
	金額	構成比	金額	金額	金額	構成比		
売 上 高	17,727	100.0%	9,659	9,871	19,531	100.0%	1,803	10.2%
販 売 事 業	16,444	92.8%	8,955	9,163	18,119	92.8%	1,675	10.2%
受託製造事業	1,283	7.2%	703	707	1,411	7.2%	128	10.0%
売 上 総 利 益	1,969	11.1%	993	1,210	2,203	11.3%	234	11.9%
販売費及び一般管理費	1,501	8.5%	795	793	1,589	8.1%	87	5.8%
営 業 利 益	468	2.6%	197	416	614	3.1%	146	31.3%
経 常 利 益	423	2.4%	181	399	584	3.0%	161	38.1%
特 別 損 益	-34	-0.2%	-	0	0	0.0%	33	-
親会社株主に帰属する当期純利益	372	2.1%	148	296	444	2.3%	71	19.3%

売 上 高	半導体装置メーカー、FPD製造装置メーカーのほか、センサー関連メーカーからの受注が増加
売 上 総 利 益	売上高の増加及び原価改善による利益増加
営 業 利 益	営業強化による販管費の増加
経 常 利 益	有利子負債の圧縮による支払利息の減少
親会社株主に帰属する当期純利益	法人税、住民税及び事業税103百万円・法人税等調整額35百万円を計上

### 3. 個別 2016年3月期の概況

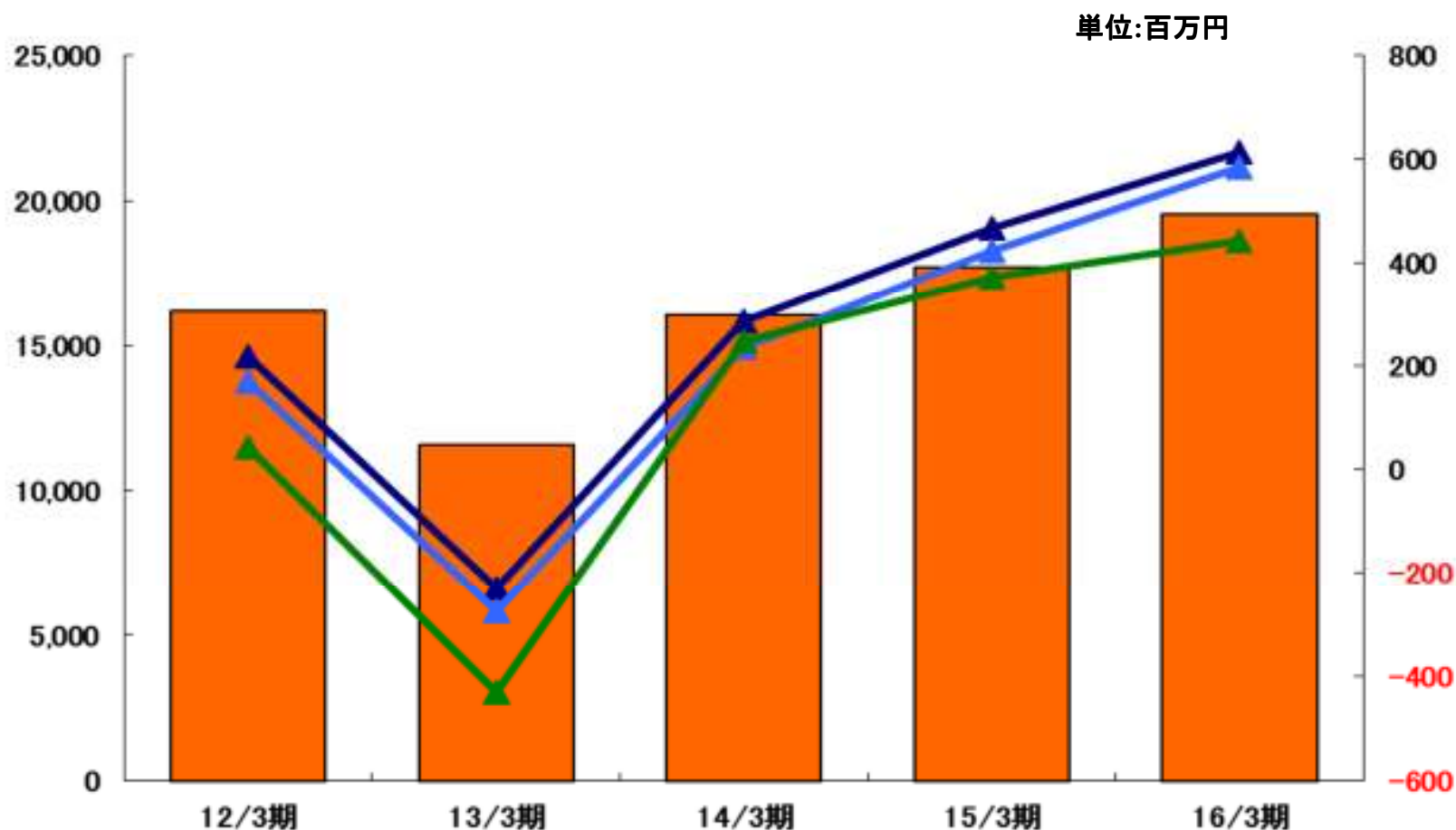





単位:百万円

個 別	2015/3期		2016/3期				前期増減額	前期増減率
	実績		上期実績	下期実績	通期実績			
	金額	構成比	金額	金額	金額	構成比		
売 上 高	16,431	100.0%	8,988	9,184	18,172	100.0%	1,740	10.6%
売 上 総 利 益	1,737	10.6%	861	1,076	1,937	10.7%	200	11.5%
販売費及び一般管理費	1,359	8.3%	717	726	1,444	7.9%	84	6.2%
営 業 利 益	377	2.3%	143	349	493	2.7%	115	30.6%
経 常 利 益	359	2.2%	141	344	485	2.7%	125	35.0%
特 別 損 益	-54	-0.3%	0	0	0	0.0%	53	-
当 期 純 利 益	292	1.8%	109	241	350	1.9%	58	19.9%

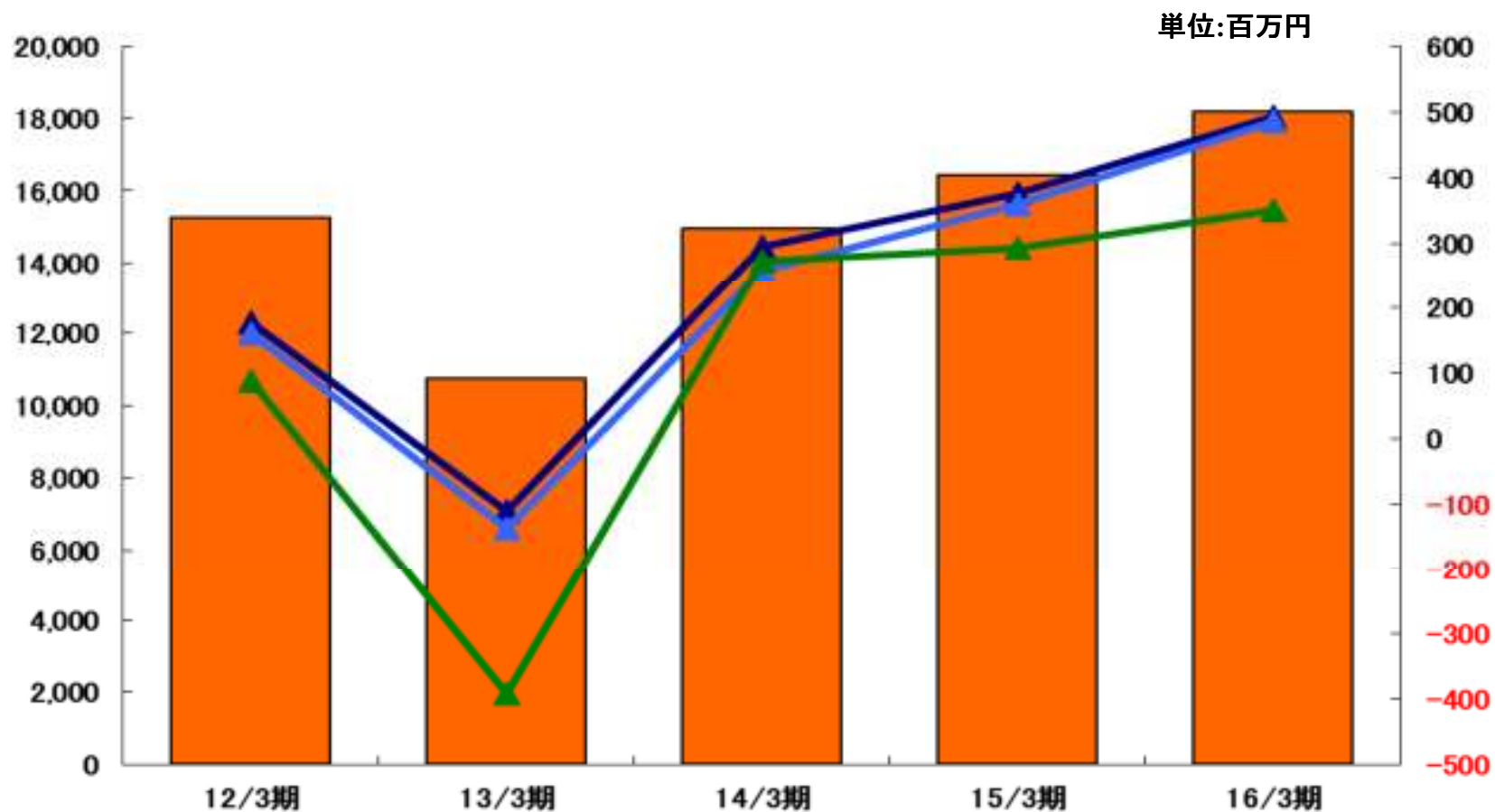
売 上 高	半導体装置メーカー、FPD製造装置メーカーのほか、センサー関連メーカーからの受注が増加
当 期 純 利 益	法人税、住民税及び事業税101百万円・法人税等調整額32百万円を計上

## 4. 連結 5期業績推移



連結		12/3期	13/3期	14/3期	15/3期	16/3期
	売上高	16,195	11,557	16,055	17,727	19,531
	営業利益	218	-229	287	468	614
	経常利益	170	-273	235	423	584
	親会社株主に帰属する当期純利益	44	-429	249	372	444

## 5. 個別 5期業績推移

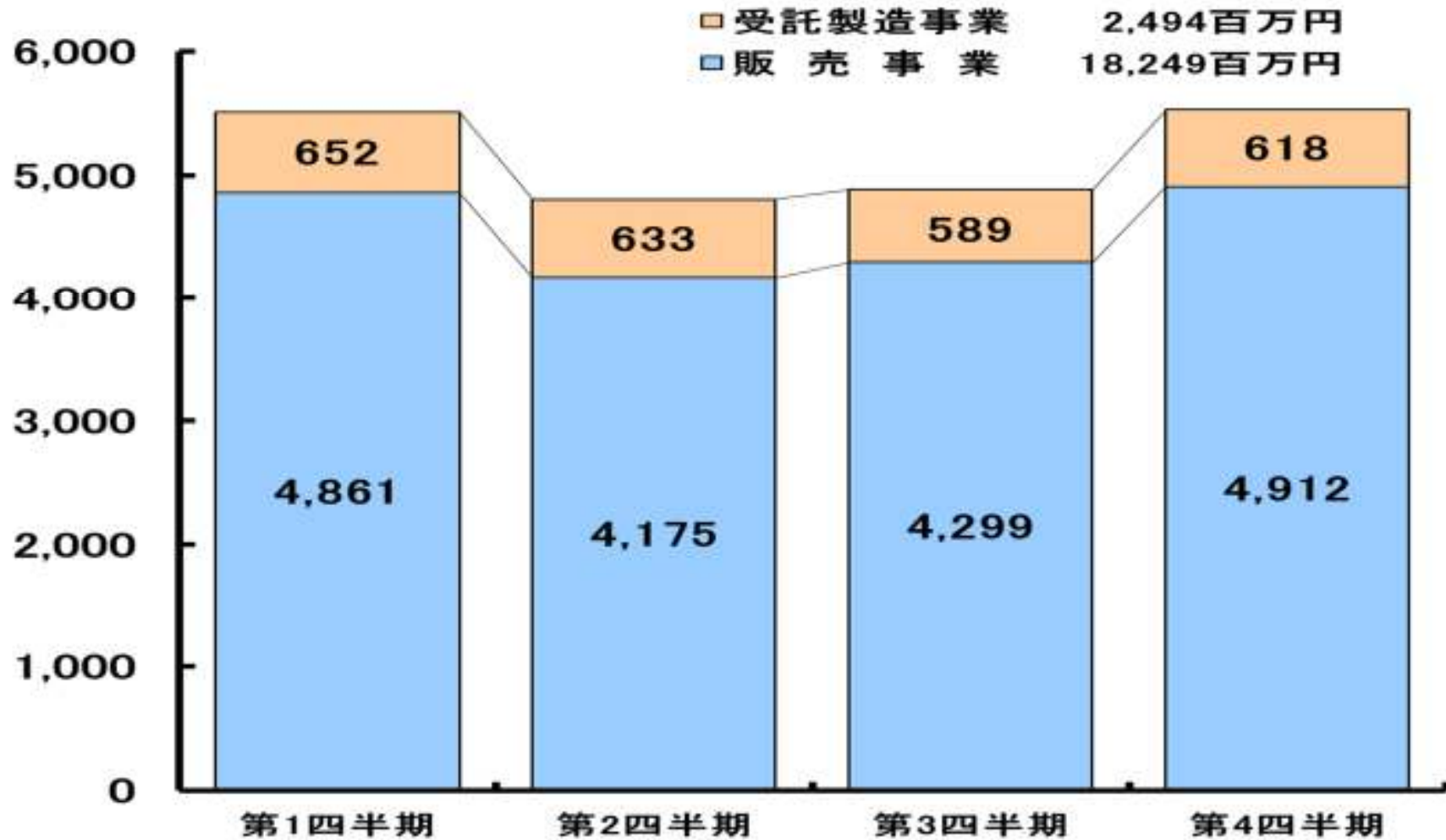


個別	12/3期	13/3期	14/3期	15/3期	16/3期
売上高	15,244	10,751	14,941	16,431	18,172
営業利益	177	-110	294	377	493
経常利益	160	-136	258	359	485
当期純利益	88	-393	272	292	350

## 6. 2016年3月期 セグメント別 売上実績



単位:百万円



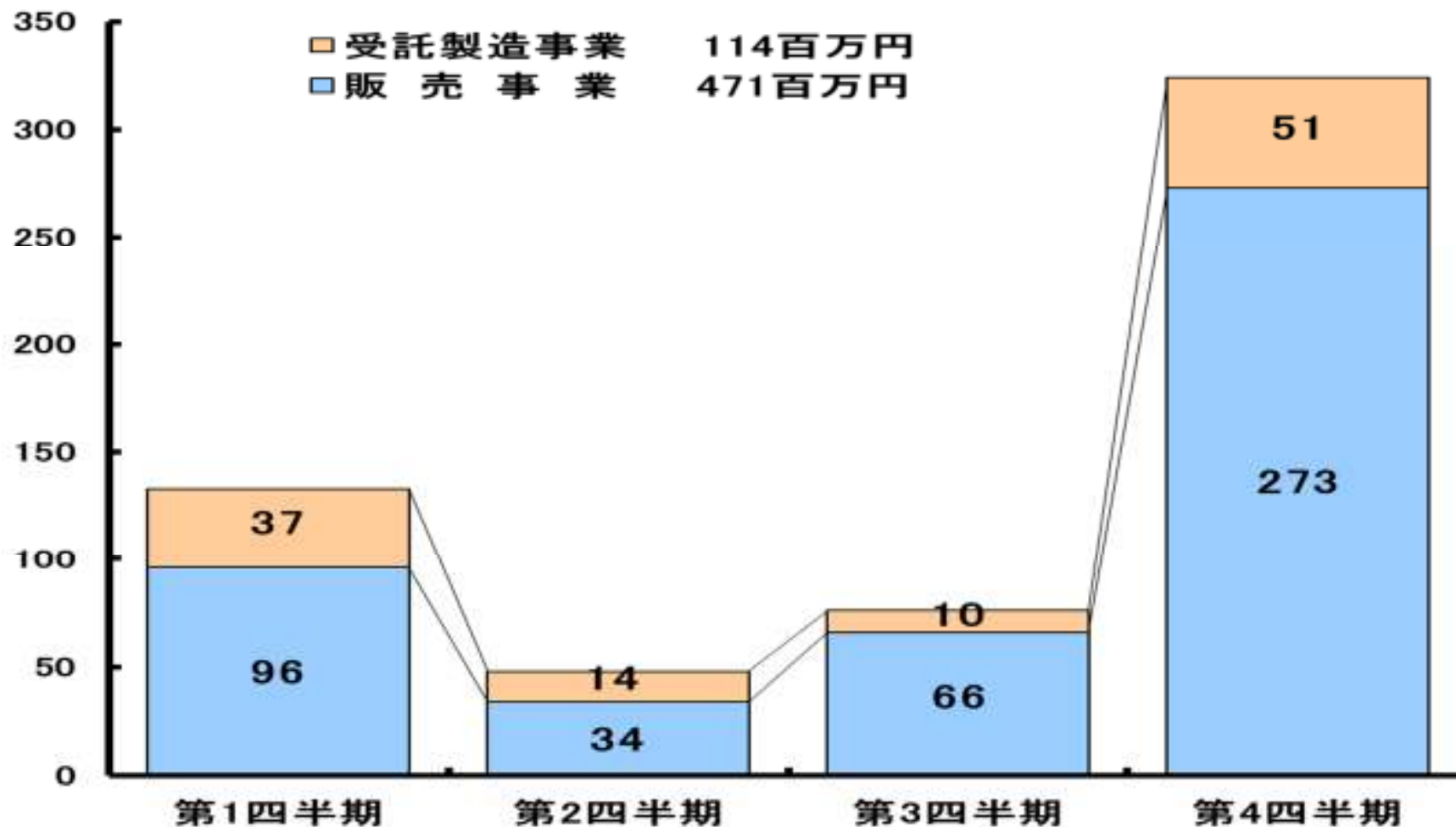
注) 連結単純合算よりセグメント内取引を消去した内容で表示しております。



## 7. 2016年3月期 セグメント別 セグメント利益実績



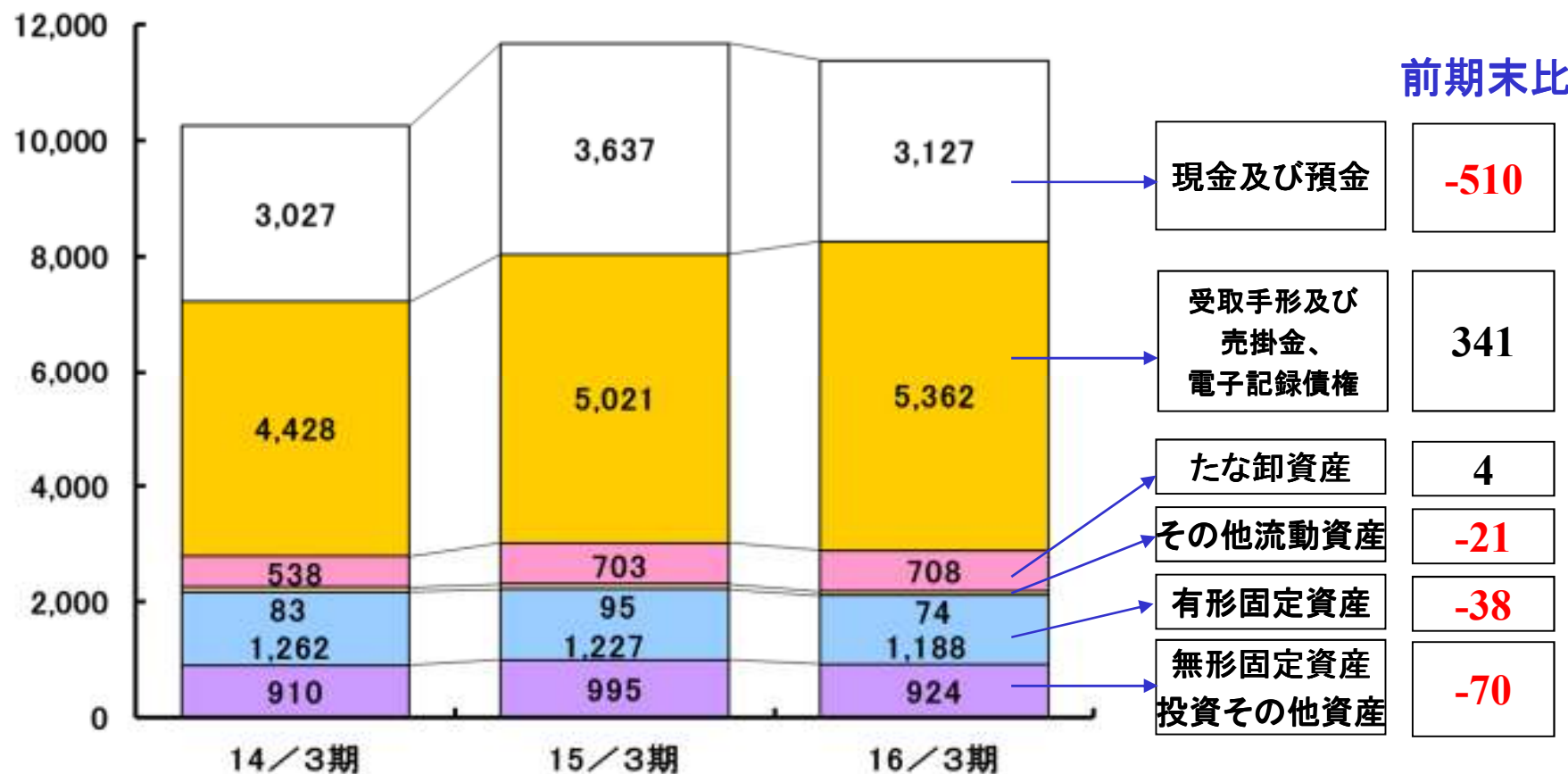
単位:百万円



注) 連結単純合算よりセグメント内取引を消去した内容で表示しております。

## 8. 連結 資産の部 推移

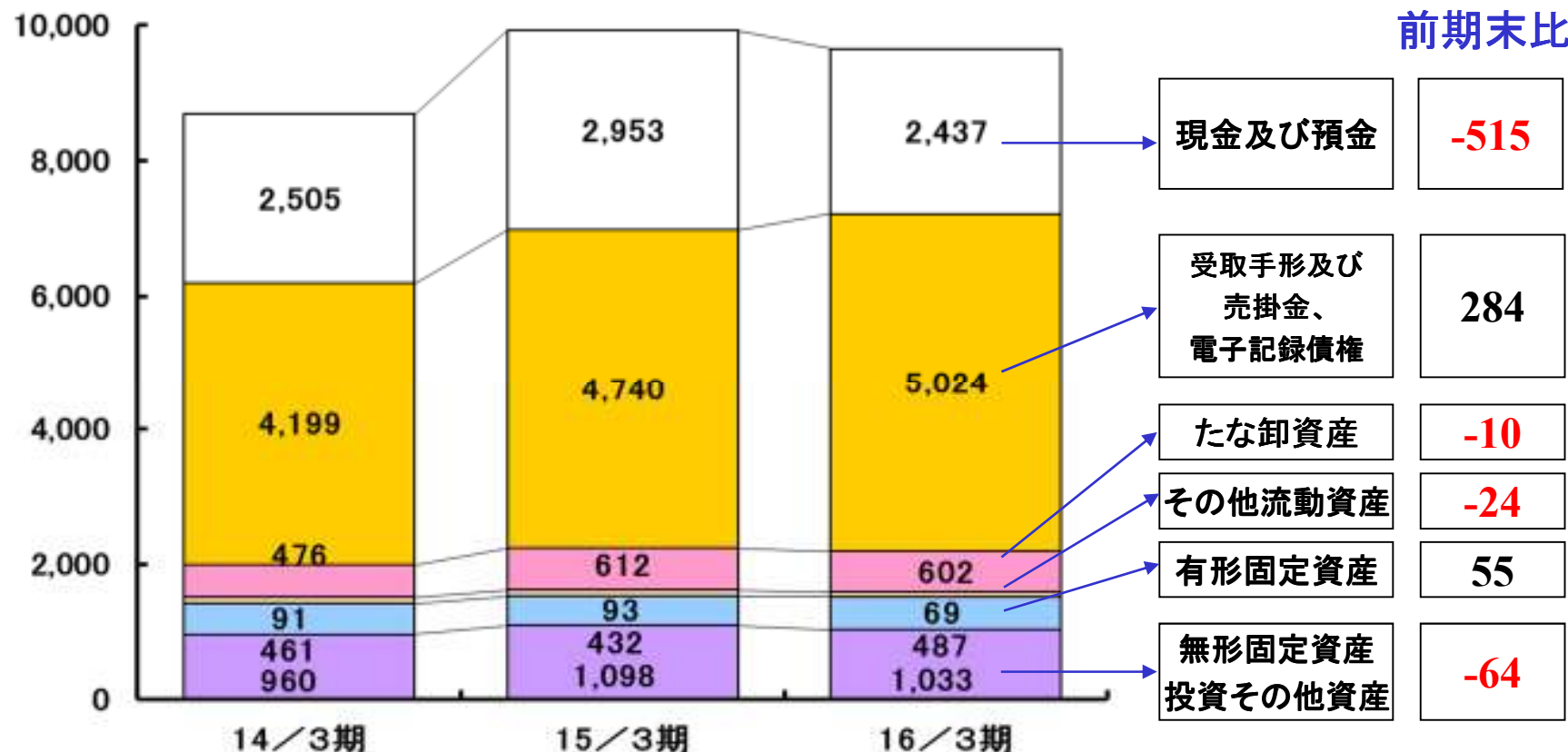
単位:百万円



現金及び預金	-510	有利子負債の圧縮
受取手形及び売掛金、電子記録債権	341	受取手形及び売掛金(+265)、電子記録債権(+75)
たな卸資産	4	商品(-11)、原材料(+5)、仕掛品(+10)
その他流動資産	-21	未収入金(-1)、繰延税金資産(-25)、前払費用(+2)
有形固定資産	-38	新規設備(+20)、減価償却費(-56)
無形固定資産・投資その他資産	-70	減価償却費(-6)、投資有価証券(-48)、差入保証金(-3)、長期性預金(-11)

# 9. 個別 資産の部 推移

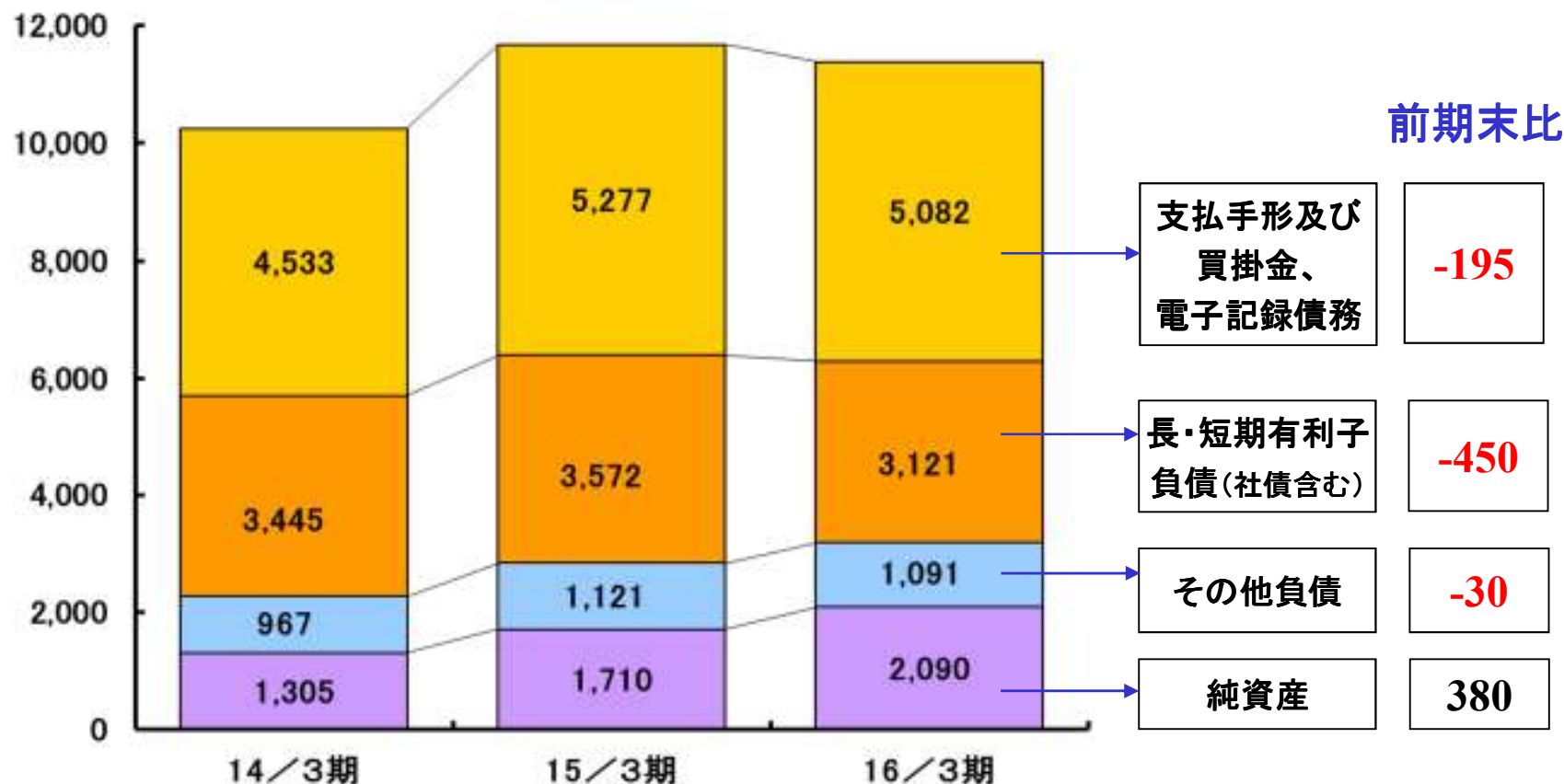
単位:百万円



現金及び預金	-515	有利子負債の圧縮
受取手形及び売掛金、電子記録債権	284	受取手形(-11)、売掛金(+215)、電子記録債権(+79)
たな卸資産	-10	商品及び製品(-10)
その他流動資産	-24	従業員短期貸付金(+1)、繰延税金資産(-25)
有形固定資産	55	土地購入他(+92)、減価償却費(-36)
無形固定資産・投資その他資産	-64	減価償却費(-5)、投資有価証券(-48)、差入保証金(+4)、長期性預金(-11)

# 10. 連結 負債・純資産の部 推移

単位:百万円



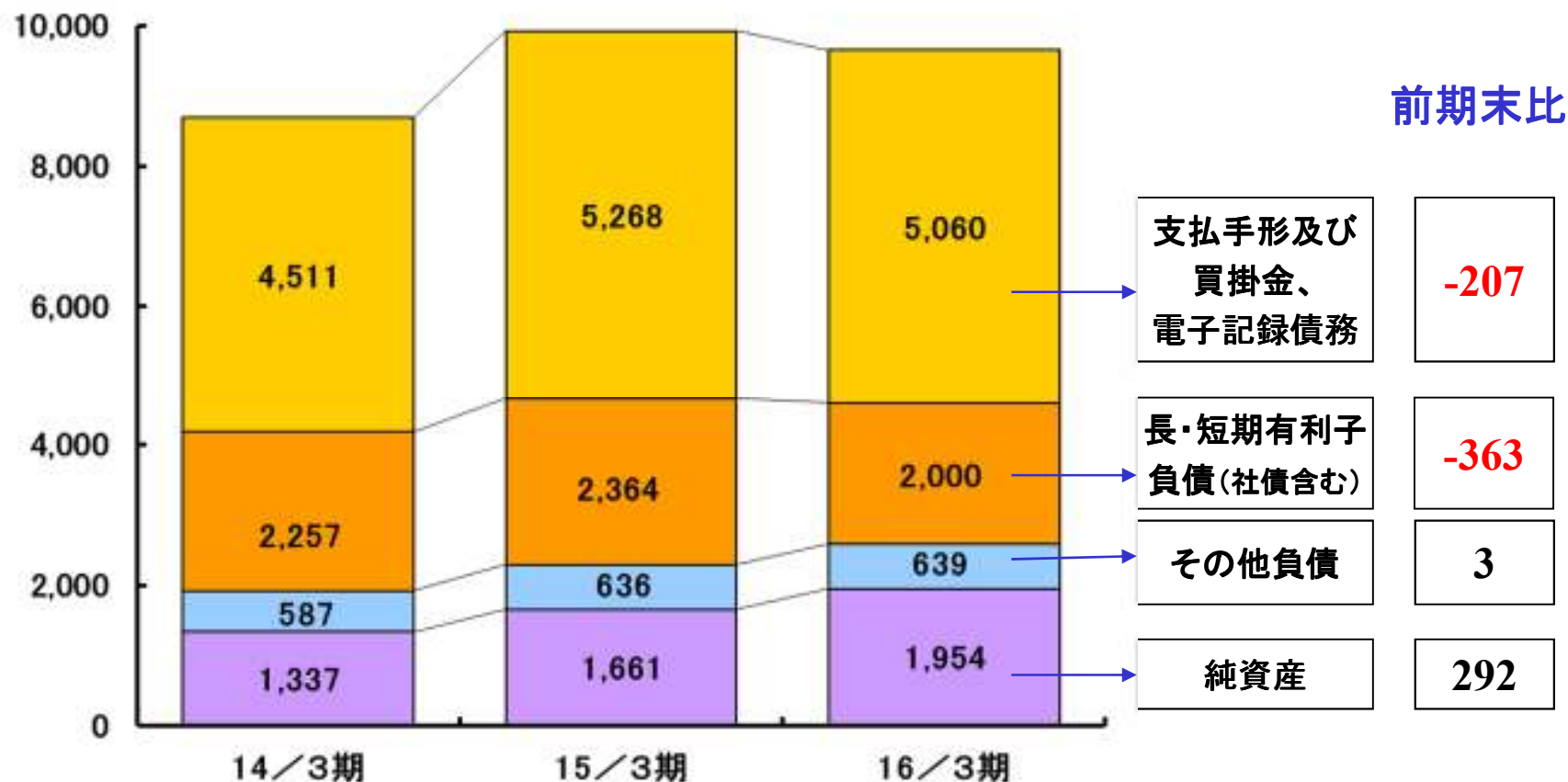
	14/3期	15/3期	16/3期
支払手形及び買掛金、電子記録債務	4,533	5,277	5,082
長・短期有利子負債(社債含む)	3,445	3,572	3,121
その他負債	967	1,121	1,091
純資産	1,305	1,710	2,090

支払手形及び買掛金、電子記録債務	-195	支払手形及び買掛金(-458)、電子記録債務(+263)
長・短期有利子負債(社債含む)	-450	長期借入金調達(+550)、社債発行(+200) 長期借入金返済(-920)、社債償還(-280)
その他負債	-30	リース債務(-14)、未払金(-19)、未払費用(-28)、未払法人税等(+78) 未払消費税(-21)、預り金(+1)、繰延税金負債(-8)、 退職給付に係る負債(-19)
純資産	380	利益剰余金(+420)、有価証券評価差額金(-33)、為替換算調整勘定(-6)

# 11. 個別 負債・純資産の部 推移

単位:百万円



支払手形及び買掛金、電子記録債務	-207	支払手形及び買掛金(-391)、電子記録債務(+183)
長・短期有利子負債(社債含む)	-363	長期借入金調達(+300)、社債発行(+200) 長期借入金返済(-583)、社債償還(-280)
その他負債	3	未払金(-18)、未払費用(+1)、未払法人税等(+78)、未払消費税(+6)、リース債務(-11)、退職給付引当金(-34)、繰延税金負債(-10)、受入保証金(-10)
純資産	292	利益剰余金(+326)、有価証券評価差額金(-33)

## 12. 連結 財務分析(キャッシュ・フロー)



単位:百万円

連結キャッシュ・フロー	14/3期	15/3期	16/3期
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>▲ 32</b>	<b>547</b>	<b>12</b>
税金等調整前当期純利益	211	388	583
減価償却費	49	52	63
売上債権・たな卸資産・仕入債務の増減	▲ 413	3	▲ 538
その他	120	102	▲ 95
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>138</b>	<b>▲ 131</b>	<b>12</b>
投資有価証券、子会社株式の取得・売却	▲ 2	▲ 2	▲ 2
固定資産等の取得・売却	▲ 7	▲ 11	▲ 45
その他	148	▲ 116	60
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>▲ 447</b>	<b>98</b>	<b>▲ 489</b>
有利子負債の増減	▲ 436	127	▲ 450
配当金	-	▲ 14	▲ 24
自己株式の取得	▲ 0	▲ 0	▲ 0
その他	▲ 11	▲ 14	▲ 14
現金及び現金同等物に係る換算差額	8	▲ 5	▲ 4
<b>現金及び現金同等物の増減額(減少:▲)</b>	<b>▲ 332</b>	<b>509</b>	<b>▲ 469</b>
現金及び現金同等物の期首残高	2,932	2,599	3,108
現金及び現金同等物の期末残高	2,599	3,108	2,638

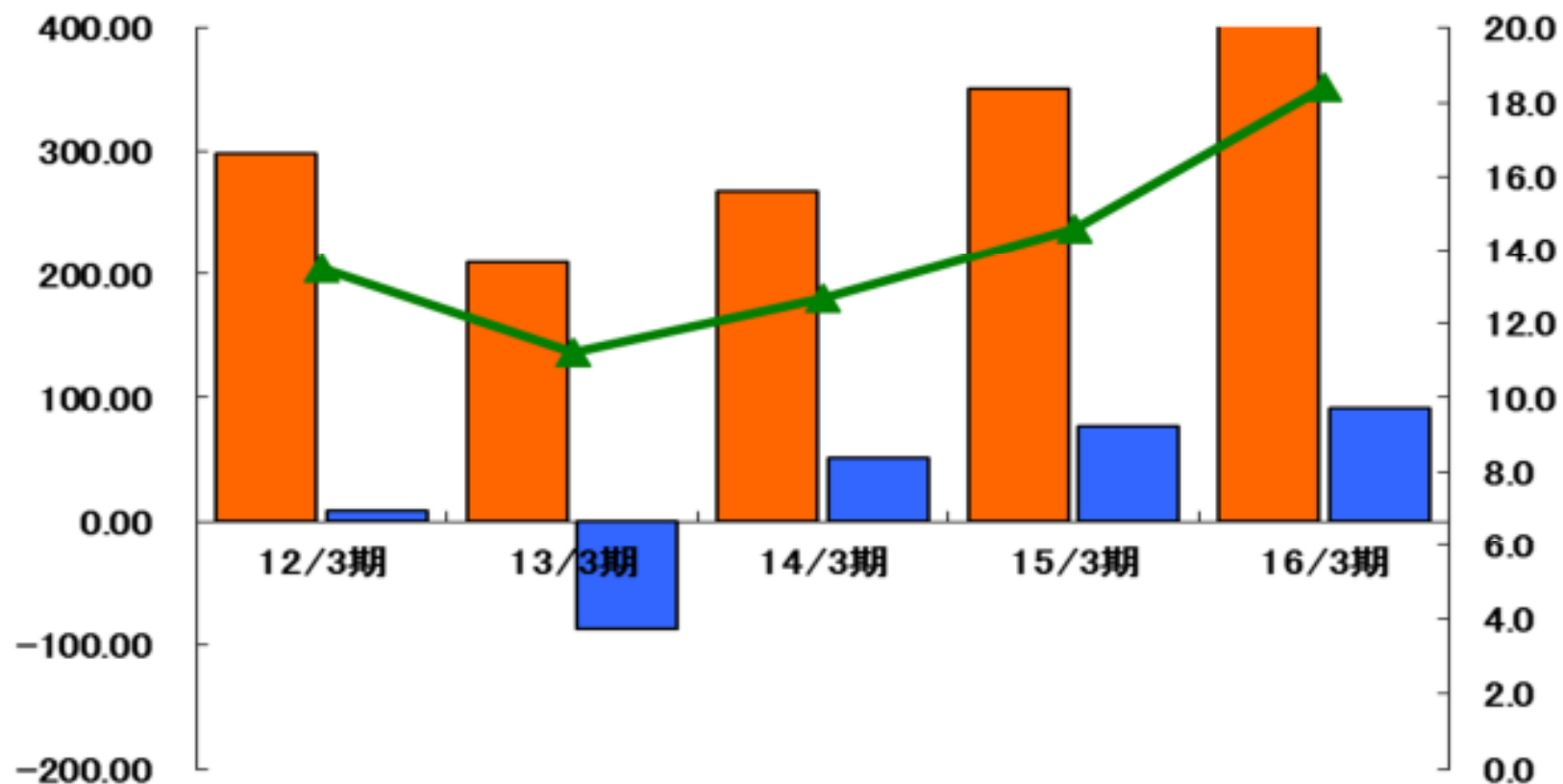
現金及び現金同等物の減少は、主に有利子負債の圧縮による

# 13. 主な経営指標の推移(連 結)



単位: 円

単位: %



連結		12/3期	13/3期	14/3期	15/3期	16/3期
	1株当たり純資産(円)	298.36	209.60	268.32	351.56	429.81
	1株当たり当期純利益金額(円)	9.14	-88.21	51.26	76.67	91.44
	自己資本比率(%)	13.5	11.2	12.7	14.6	18.4

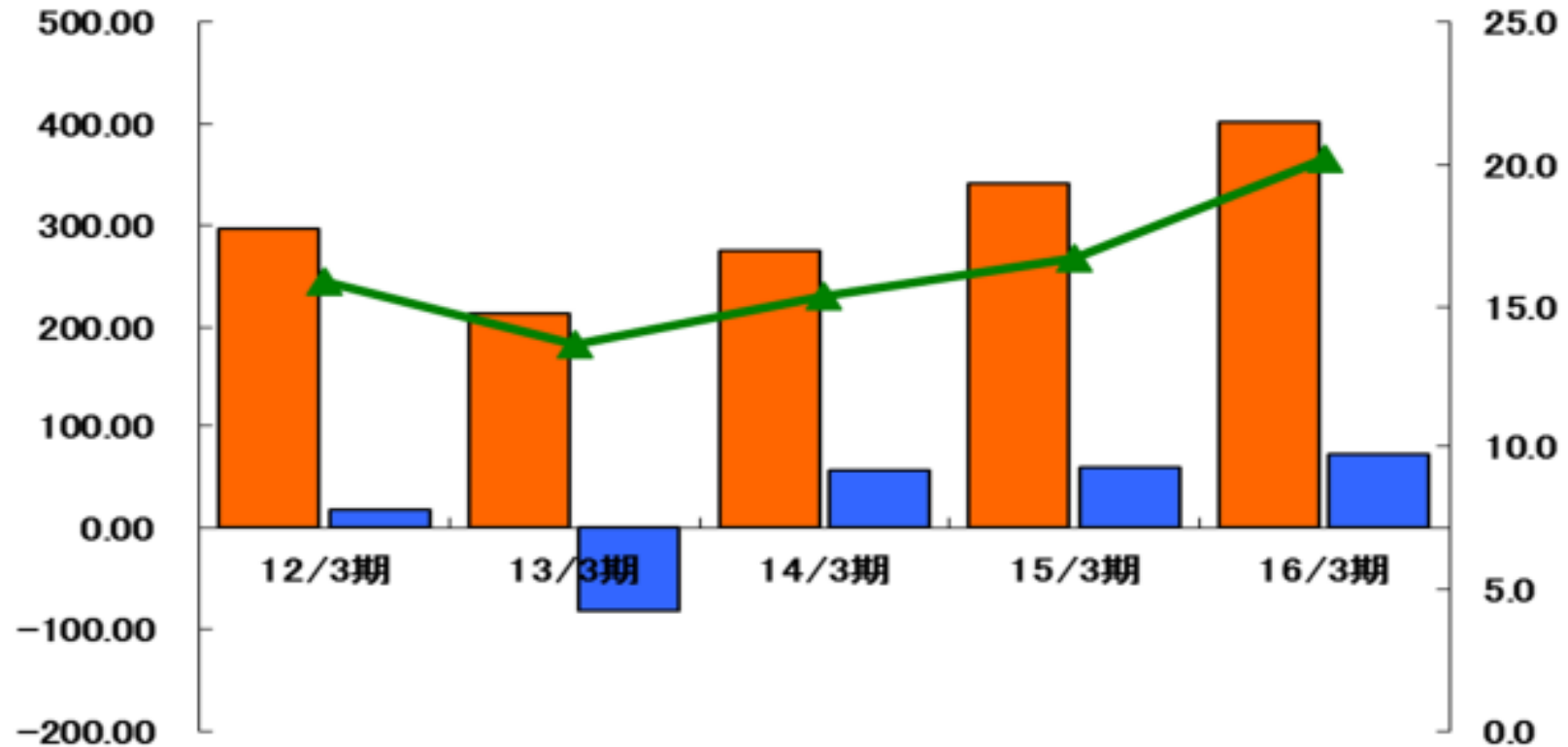


## 14. 主な経営指標の推移(個別)



単位: 円

単位: %



個別		12/3期	13/3期	14/3期	15/3期	16/3期
	1株当たり純資産(円)	296.88	213.24	274.97	341.62	401.85
	1株当たり当期純利益金額(円)	18.18	-80.82	56.00	60.08	72.04
	自己資本比率(%)	15.9	13.7	15.4	16.7	20.2
	1株当たり配当金額(円)	5.0	-	3.0	5.0	5.0



# 2017年3月期業績予想と 市場動向

# 15. 連結 2017年3月期の見通し



単位:百万円

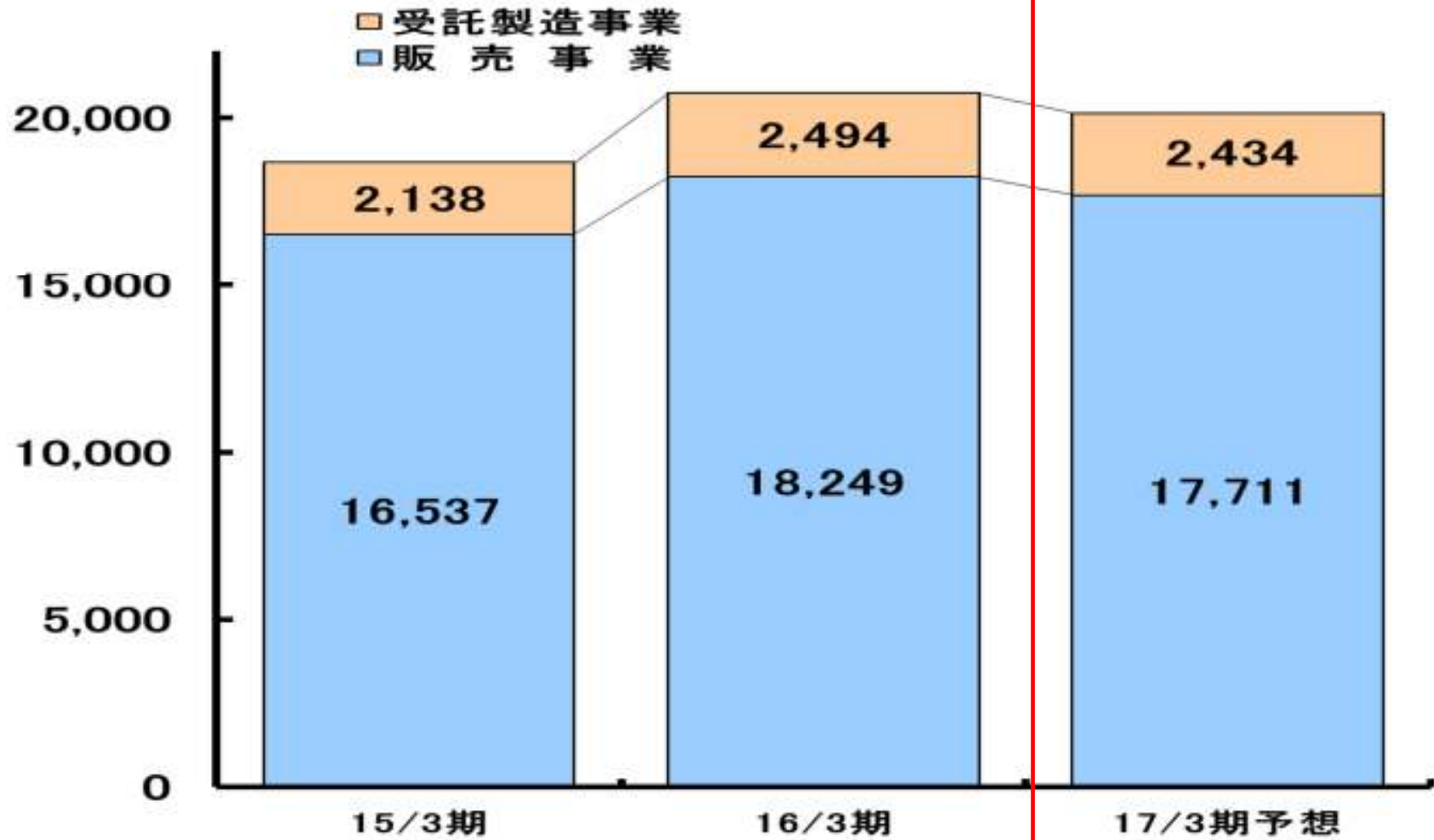
連 結	2016/3期		2017/3期 (予想)		前期増減額	前期増減率
	実績		通期			
	金額	構成比	金額	構成比		
売 上 高	19,531	100.0%	19,111	100.0%	-419	-2.2%
販売事業	18,119	92.8%	17,629	92.7%	-489	-2.7%
受託製造事業	1,411	7.2%	1,481	7.3%	69	5.0%
売上総利益	2,203	11.3%	2,176	11.7%	-27	-1.2%
販売費及び一般管理費	1,589	8.1%	1,683	8.1%	94	6.0%
営業利益	614	3.1%	492	3.6%	-121	-19.8%
経常利益	584	3.0%	464	3.5%	-120	-20.6%
特別損益	0	0.0%	-	0.0%	0	-
親会社株主に帰属する当期純利益	444	2.3%	329	2.5%	-114	-25.8%
1株当たり当期純利益(単位:円)	91.44	—	67.80	—	—	

## <2017年3月期の見通し>

- ・ 熊本地震による影響の不透明感はあるも、半導体メーカーの継続的な設備投資による半導体製造装置業界の受注はほぼ前年程度を予想
- ・ 原価改善による売上総利益率の上昇
- ・ 営業強化にともなう固定費等の費用の増加
- ・ 法人税等の増加

## 16. セグメント別売上推移

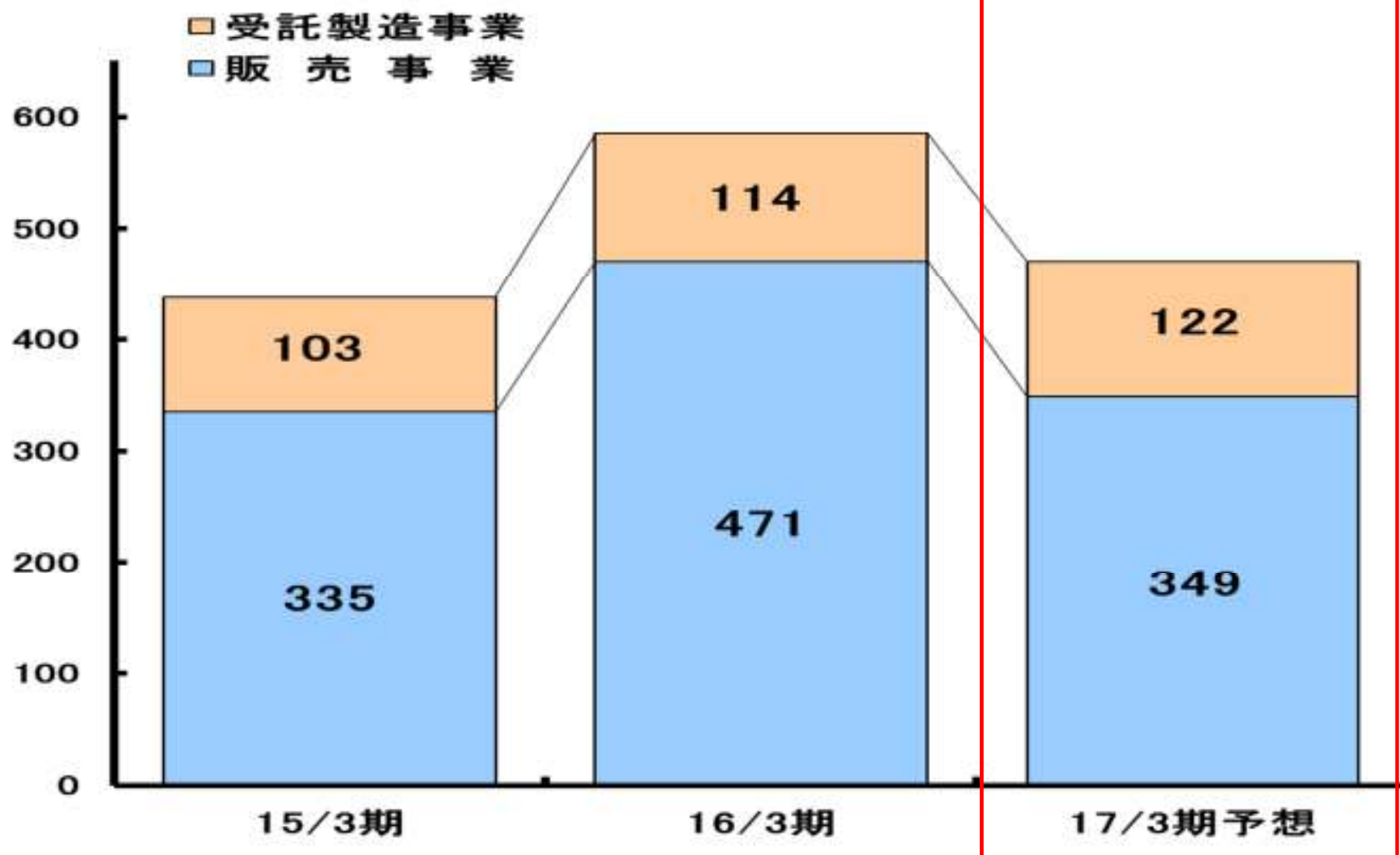
単位:百万円



注) 連結単純合算よりセグメント内取引を消去した内容で表示しております。

# 17. セグメント別セグメント利益推移

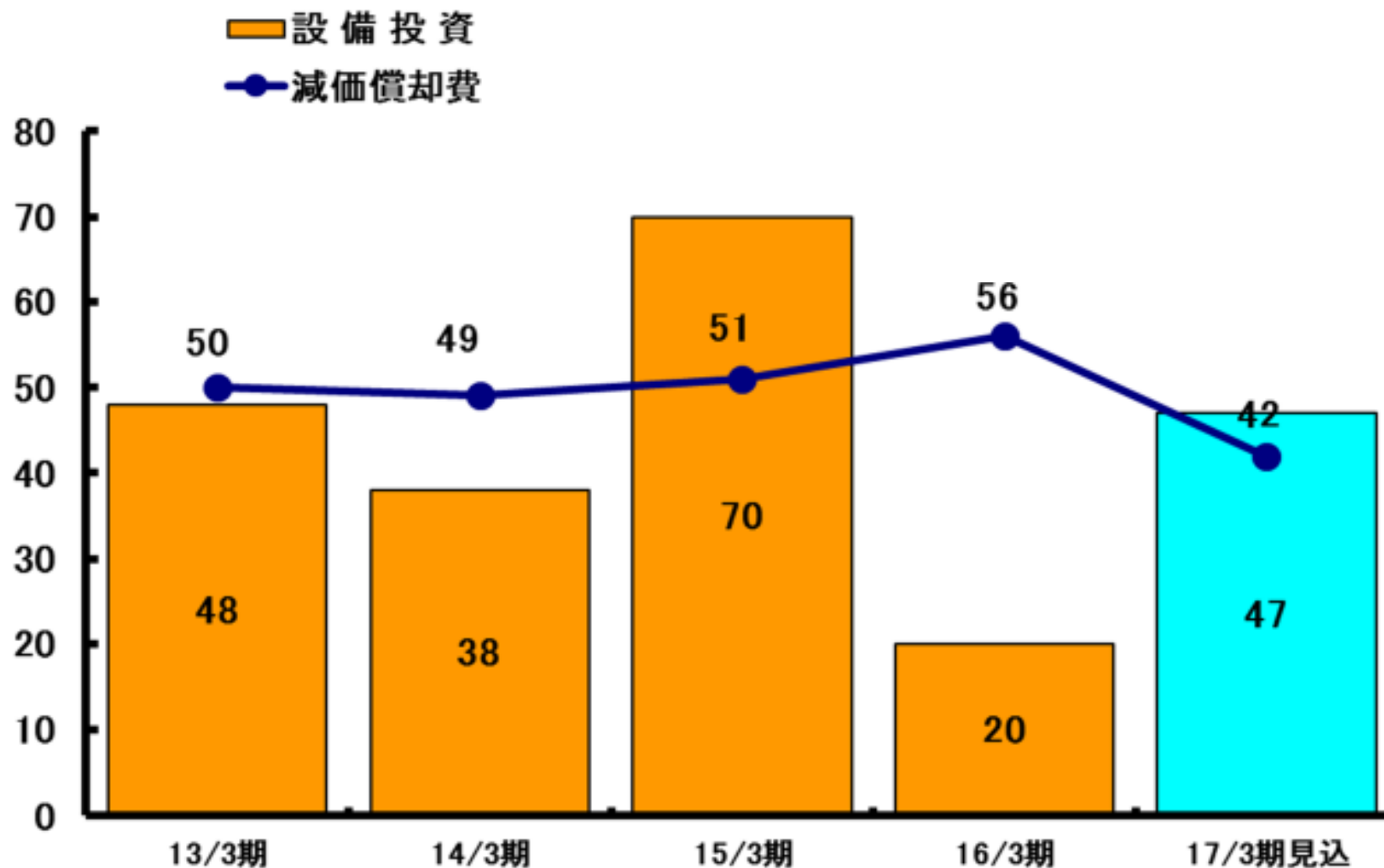
単位:百万円



注) 連結単純合算よりセグメント内取引を消去した内容で表示しております。

## 18. 連結 設備投資・減価償却費の推移と見込

単位:百万円



- ・ 2017年3月期の設備投資は、機械装置・空調機器等の設備を予定。

## 19. 2017年3月期の事業方針について(1)



### 製造部門

1. 半導体製造装置の分野において、グループ全体でのモジュール・ユニット化率を上げ、顧客への短納期対応と、付加価値の向上を目指す。
2. 生産革新プロジェクトによる、限界利益率の向上と固定費の圧縮の双方を達成させる。
3. 保守メンテナンスの分野においては、温調機器及び真空ポンプのシェア拡大のため、保守地域及び扱い製品・工程の拡大を目指す。
4. 顧客の需要変動に即座に対応する体制をいち早く確立し、競走優位を維持するための人員、スペース、ロジスティクスの効率化の仕組みやインフラの整備を検討。
5. 調達・物流業務のグループ内統合を実施し、間接コストを削減するとともに、棚卸資産の圧縮をはかる。

## 19. 2017年3月期の事業方針について(2)



### 販売部門

1. 営業人員比率を上げ、営業戦力を増強するため、今後2年間にわたり営業マンの増員を予定。
2. SCM(サプライ・チェーン・マネジメント)内での競争力強化のため、顧客の満足する納期・リードタイムの達成と棚卸資産の圧縮の両立を実現させる。
3. 国内の営業拠点の空白地域に、新たな営業拠点展開を検討。
4. 医療、ヘルスケア分野における中・長期的な視点での開発投資を継続。
5. 製造部門と販売部門の業務統合による効率化と、SCM内での新たなサービス対応のため、基幹システムの全面更新を計画。



本日はありがとうございました。

- ・ 本資料は、2016年3月期決算説明、2017年3月期業績予想及び今後の経営戦略等に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。
- ・ 本資料に記載された意見、計画、予測等は、資料作成時点での当社の判断であり、その実現・達成を保証、約束するものではなく、また、その情報の正確性、完全性を保証、約束するものではありません。
- ・ 本資料に記載された内容は、予告なしに変更されることがあります。